

研究課題番号	3G-2103
研究課題名	ジオポリマーコンクリートに資する木質バイオマス燃焼灰の資源化技術の実証開発
研究実施期間	令和3年度～令和5年度
研究機関名	北九州市立大学
研究代表者名	高巢 幸二

1. 委員の指摘及び提言概要

ジオポリマーコンクリートとバイオマス利用の接合という、脱炭素時代に求められる研究開発に
着実な成果を挙げている。サブテーマ1で58種類の木質バイオマス焼却灰組成の性状と類型化が
達成できており、将来の環境行政に資する成果である。一方で、重金属分析も多に行っているが、
この側面から留意すべき制御ポイントをどう考えるか、結果を受けての考察も期待したい。CO₂削減
効果については根拠を示し、また改質木質バイオマス燃焼灰を使用したジオポリマーコンクリート
が社会実装されるための要求を満たせるということを、提示していただきたい。燃焼灰組成のばら
つきを念頭においた検討も求められる。研究の途中段階で、各サブテーマの成果を他のサブテーマ
の取り組みに反映させる仕組みを導入することが必要である。

2. 採点結果

評価ランク：A